

はじめに



私たちのまち春日井市は、安全・安心で住み続けたいなるまちをめざして、いまや人口30万を擁する中部圏の中核都市へと発展してきました。

こうした本市の次代を託する子ども・若者の健やかな成長は、私たちすべての願いです。しかし、近年の少子化や核家族化の進行等の社会環境の変化、市民の価値観の多様化に伴い、子育て家庭の生活実態や子育て支援のニーズも多様化しています。また、児童虐待、いじめ、有害情報の氾濫などにより、子ども・若者が自信をもって大人になったり、社会生活を円滑に営む上で困難となる問題が深刻な状況になりつつあります。

これまで本市では、平成17年3月に策定した「春日井市次世代育成支援対策行動計画」を5年間の前期計画として、子育て・子育てに関する施策を推進する一方で、平成16年3月に策定した「新かすがいユースプラン」により、青少年の健全育成をめざす諸施策に取り組んでまいりました。

このたび、前期計画の見直しにあたり、改めて子ども・若者をめぐる現状の問題点と課題を抽出いたしました。そして、次代を担う子ども・若者に関する施策を一層充実させるとともに、総合的・計画的に推進していくため、新かすがいユースプランを融合し、次世代育成支援対策行動計画の後期計画となる「かすがいっ子未来プラン」を策定しました。

今後は、この計画に基づき、基本理念である「みんなで育てよう次代を担うかすがいっ子」の実現に向けて、福祉、保健・医療、教育、雇用などの幅広い関係者や事業者と連携を図りつつ、地域の皆様方と一体となって取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、この計画策定において、熱心にご審議いただきました春日井市次世代育成支援対策地域協議会の委員の皆様をはじめ、次世代育成1万人アンケートや意見募集など、さまざまな形でご参加いただき、貴重なご意見やご提言をお寄せいただきました市民の皆様ならびに関係各位に心からお礼を申し上げます。

平成22年3月

春日井市長 伊藤 太